

2021（令和3）年度 和田島小学校 教育プラン

～「よき社会人」の基礎を育てる教育～

徳島教育大綱
未知の世界に果敢に挑戦する
夢と志あふれる「人財」の育成

【学校教育目標】
心豊かでたくましく生きる
「しなやかな」子どもの育成

小松島市教育振興計画
郷土に誇りを持ち、一人ひとりの
人権を尊重する、創造性豊かで
輝く人づくり

【めざす児童像】
①元気な子
②やさしい子
③考える子

【めざす学校像】
①いきいき学校・わくわく学校
②のびる学校・のぼす学校
③つながる学校・つなげる学校

今年度重点目標
一人一人が輝き
認めあい 支えあい 高めあう
『チーム和田島』

【めざす教職員像】
①愛情と情熱のある教職員
②個々の力を組織人として発揮する教職員
③仕事と生活の両方を大切にする教職員

今年度の取り組みの柱
☆想いに耳を傾け、一緒によりよい成長をめざす教育実践
☆よさを見つけ、可能性を引き出す教育実践
☆感染対策と学習活動の活性化の両立をめざす教育実践
☆安全・安心な学校をめざす教育実践

具体的な教育活動

【体育】
体育学習や屋外活動による身体づくり
家庭や地域と連携した健康教育、食育

【徳育】
様々な場面での規範意識、行動選択能力の育成
明るいまはたさつ、時と場に応じた言葉遣いの習慣化
想いをめぐらせる（相手の状況や感情を想像する）力の育成
校内・学級の人権課題の根絶

【知育】
基礎・基本の定着（学習規律の確立、授業のUD化）
一人一台タブレットを中心としたICT環境の活用
主体的、対話的、深い学びに向かう学習
読書の習慣化

教職員の取り組み

保護者や地域への情報発信
指導に活かす学校評価の実施
学校行事における工夫・改善

共通理解による方向をそろえた指導
「危機管理のさしすせそ」の徹底

個々の資質能力の最大限の発揮
服務規律の徹底
時間を意識した効率的な勤務

☆見つめたい子どもの姿

	姿	主な視点	確認
1	表情	児童理解 生徒指導 健康	
2	服装・頭髪	生徒指導 家庭環境 健康	
3	持ち物	生徒指導 家庭環境	
4	上靴（清潔さ・履き方）	生徒指導 家庭環境	
5	給食袋（清潔さ・着方）	生徒指導 家庭環境	
6	あいさつ	道徳教育 生徒指導 外部連携 社会性	
7	授業中の姿勢	生徒指導 学力向上	
8	話の聞き方	道徳教育 生徒指導 学力向上 社会性	
9	言葉遣い・返事	道徳教育 生徒指導 社会性	
10	休み時間の過ごし方	生徒指導 人間関係	
11	登下校の様子	生徒指導 人間関係	
12			
13			
14			
15			

☆点検したい学校の風景

	風景	主な視点	確認
1	校門～玄関	生徒指導 保護者・地域等連携	
2	玄関・来客用スリッパ	保護者・地域等連携	
3	児童の靴箱・傘立て	生徒指導	
4	廊下や階段にあるもの	学校安全 危機管理	
5	教室・廊下の掲示物	子どもの感性 教職員意識	
6	児童の机の中・ロッカー	生徒指導 学力向上	
7	教室や廊下の隅・敷居・窓	清掃指導	
8	掃除道具入れ	清掃指導 生徒指導	
9	教師用机・本棚	教職員意識	
10	蛍光灯・床	教職員意識	
11	トイレ	生徒指導 保健指導	
12	出席黒板	教職員意識	
13	運動場	体力向上 学校安全 教職員意識	
14	体育館・プール・体育倉庫	体力向上 学校安全 教職員意識	
15	特別教室の備品	生徒指導 学力向上	
16	職員室・印刷室	働き方改革 教職員意識	
17	電話機周辺・電話対応	保護者・地域等連携 教職員意識	
18			
19			
20			

☆一人で判断・対応せず，周囲に相談。必要に応じて複数確認，複数対応。

1 児童対応

- ・子どもとしてでなく，一人の人間として対応する。
- ・「身の程知らずに伸びたい存在」なのが子ども。チャンスを与える。（何度も裏切られるが，その度に次を信じてチャンスを与えるのが教職員の仕事）
- ・行為は指導しても，人格は否定しない。
- ・先入観をもって接することなく，よさを見つけたらしっかり伝える。
- ・表面だけを見て感情的になって指導しない。（状況を見て，話を聞いて対応。子どもにも言い分や理由があるかも知れない。）
- ・指導にメリハリを。（事案によって，改善の促しにとどめるものと厳しい指導を入れるものと。）
- ・他者と比較しない。

2 保護者対応

- ・小さな成長でも，こまめに伝えることでつながりづくりを。先手をとった連携を。
- ・第一印象が大切。家庭訪問，電話，来校時等における対応を大切に。
- ・電話では，よいことを伝えるのは○だが，悪いことを伝えるのは△。（家庭訪問or来校を依頼）連絡帳への記載も電話と同様。文字に残るので，きちんと確認を。
- ・欠席者，早退者等の体調不良者に対するフォロー。
- ・事案発生時には保護者に説明ができるように対応。（子どもが納得する指導や記録どり 子どもは自分に都合のよいように親に言いがち）

3 新型コロナウイルス感染症予防及び対策

◇感染症予防 ☆予防対策をしているか，していないか → 接触者か濃厚接触者かの違い（2週間の自宅待機に関連）

【児童関係】

- ・マスク（鼻出し× 正しい着用），手洗い，消毒の重要性の再確認 検温，健康観察の再度徹底
- ・飛沫感染対応：密を避ける 換気（これからは常時換気を） 給食時や休み時間等の過ごし方の意識づけ
- ・家庭や地域での遊び等における予防の意識づけ

【教職員関係】

- ・マスク（鼻出し× 正しい着用），手洗い，消毒の重要性の再確認 検温，健康観察の再度徹底
- ・職員室等の共有スペースでの過ごし方や，事務用PC等の共有物使用における対策
- ・私的生活における万全の感染対策 リスクを避ける意識

◇具体的な対応

- ・児童生徒等PCR検査 → 学校 → 市教委 → 県教委 （※検査結果の判明時刻を確認）
- ・陽性判明 → 保健所 → 本人・保護者 → 学校 → 市教委 → 県教委
- ・保護者に対するメールや通知文の発出
- ・メール発出後
 - ①保護者等からの問い合わせへの対応
 - ②接触候補者リスト提出
 - ③保健所の指示後にPCR検査対象者に連絡
 - ④PCR検査（学校で実施）の準備
 - ⑤校内消毒
 - ⑥感染者対応（入院や宿泊療養の手続き支援 体調確認 心のケア 学習支援）
 - ⑦濃厚接触者対応（2週間の自宅待機中の体調確認，学習支援）

4 対外対応

【電話】

- ・待たせない。（できれば3コール以内に それを超えたら「お待たせしました」を付けて 呼び出しですぐに代われない場合は一度切って折り返しを）
- ・相手には丁寧に 身内には敬語なし。（〇〇先生は→〇〇は 出張に行かれています→出張しております 今日もう出られました→本日は退勤いたしました）
- ・対象者が不在の場合は，名前と連絡先，簡単な内容，急ぎかどうか等を確認し，対象者にできるだけ早く伝える。緊急の場合は，優先してかかってきた教職員に伝達するとともに，管理職に報告する。
- ・間違い電話を掛けた時の対応，間違い電話が掛かってきた時の対応に注意。
- ・留守番電話にメッセージを入れる際は十分に注意。（個人情報× 用件も内容によっては× 「和田島小学校の〇〇です。改めてお電話いたします。」等にとどめる）
- ・相手が録音している可能性を想定して対応する。

【ファクシミリ】

- ・宛先，内容に十分注意し，誤送信，個人情報や秘密の内容の漏洩等がないようにする。

【メール】

- ・ファクシミリと同様に，誤送信，個人情報や秘密の内容の漏洩等がないようにする。
- ・宛先，CC，BCCの使い分けを。
- ・本文はシンプルに。必ず読み返して誤字，脱字，表現等のチェックをする。

【文書作成】

- ・各種報告等，対外的に発出する文書については，次の様式に揃えと，相手方も見やすくなる。
- ・PC内に保存された文書を修正して出す際には，可能な限りこの形式に合わせていただければありがたい。

	令和3年〇月〇日
(2行あけ	
〇〇 〇〇 様 ← 役職の場合は「殿」	
(2行あけ	
	小松島市和田島小学校 校長 生田 雅和
(2行あけ	
	〇〇〇〇について（依頼）
(1行あけ	↑ () の中は文書の内容によって変更
〇〇〇〇	
※サイズは12pt 書体は明朝	
※レイアウトを見て，バランスを整えて	

2学期の始まりにあたって

1 児童対応

- ①これまでの段階の指導 → 今の段階の指導 → 次のステップに向けての指導
- ・「現状がこうだから指導は難しい」
→ 「現状を一步でも進めるために、次はどう指導するか」
 - ・次の学年を見据えた指導を
- ②「これだけは徹底」←全学年で漏れがないように
- | | |
|--------|--|
| チャイム着席 | ・授業開始のチャイムの最後の一音までに全員が着席
・場面の変わり目にけじめをつける |
|--------|--|
- ③P B Sはよい行動を褒めて強化するもの よい行動はしっかり褒める！
- ・ただし、決して「正しくない行動を見過ごす」ものではない
 - ・「正しくない行動を指導する」のは当たり前
 - ・そこに互いに対する遠慮はいらない
 - ・「あの先生なら許されて あの先生には許されない」
→「そうか。そのことは〇〇先生に必ず伝えておく。でも、許される許されないの問題ではなく、今指導されているあなたの行動は正しいものではない。」
- ④小規模校 → 全校児童を全ての教職員が見る
特に 掃除時間は全員でかかわる
「無言清掃」「意義」「どう取り組んだか」「どう取り組めばできるようになるか」共有
- ⑤行為に対する指導 ⇔ 人格の否定
- ⑥指導の優先順位「命にかかわること、人権にかかわること、…」

いじめの定義「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等、当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行った心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」

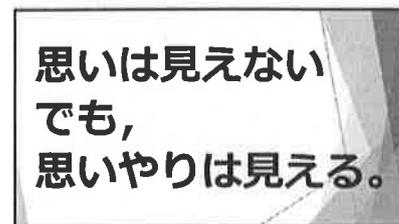
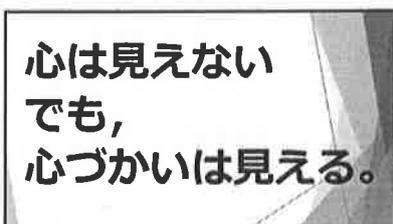
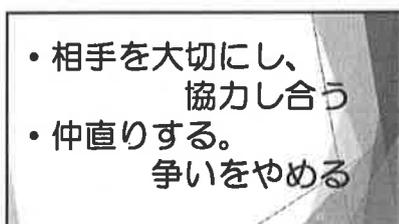
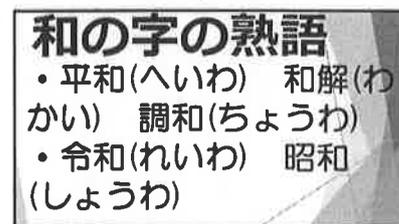
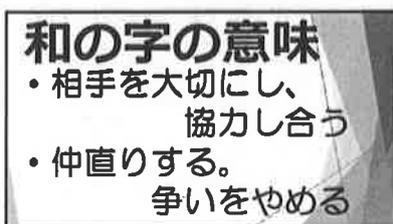
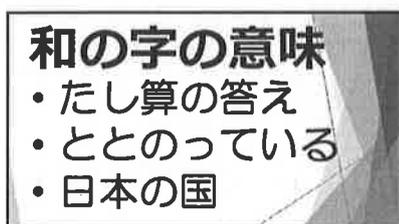
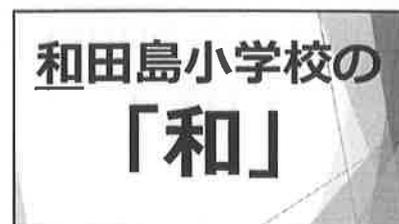
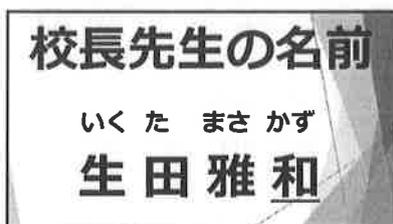
- ⑦事案が起きたら
一人で判断・対応せず、周囲に相談。必要に応じて複数確認、複数対応。

2 保護者対応

- ①小さな成長・よさをこまめに伝える先手をとった連携
- ②第一印象 家庭訪問、電話、来校時等における対応
- ③電話：よいことを伝えるのは○（悪いことは家庭訪問or学校に来てもらう）
- ④連絡帳：電話と同じ 文字に残る→きちんと確認
- ⑤欠席者、早退者等の体調不良者に対するフォロー
- ⑥保護者に説明ができる対応。
子どもが納得する指導、記録（子どもは自分に都合のよいように親に言いがち）

3 最後に

「これからの時代 どんな大人、どんな力をもった社会人が求められるのか」
どんな子どもを育てるのか これまで求められてきたものとの違いを意識して



ぬれている子に
スツと かさを
さしかける。

1年生が
通りすぎるのを
待つてあげる。

1年生が水たまりに
入らないように
手をひいてあげる。

心づかいや思いやり
↓
和田島の「和」の字の
ように「相手を大切に
できる」学校に！

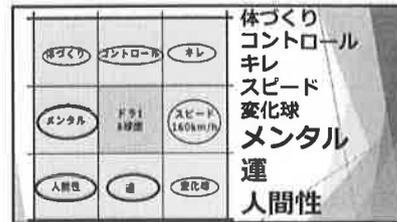




おおたに しょうへい
大谷 翔平 選手
 ▶アメリカの大リーグで
 ピッチャーとバッターの
 二刀流で活躍

高校1年生の時に
 立てた目標
**プロ野球8球団
 ドラフト1位**

身長	188cm	体重	80kg	学年	高校1年生	学年	高校1年生	学年	高校1年生	学年	高校1年生
学年	高校1年生										
学年	高校1年生										
学年	高校1年生										



ほろりと した瞬間 目の奥が熱い	一番 楽しい	野球が 大好きに なりました	体づくり	「メンタル」 ・頭は冷静に ・心は熱く ・思いやる心 ・雰囲気 に流されない
ピンチに 強い	メンタル	困難な 状況に あきらめない	メンタル	
涙を つかさない	目標への 執念	希望を 思いやる心	人間性	

人間性	運	変化球	「運」 ・あいさつ ・プラス思考 ・本を読む ・応援される人 ・道具を大切に
あいさつ	ゴミ拾い	挨拶そうじ	
道具を 大切に使う	運	勝利さん への感謝	
プラス思考	応援される 人になる	夢を掴む	

涙を つかさない	目標への 執念	希望を 思いやる心	人間性	「人間性」 ・感謝 ・礼儀 ・思いやり ・信頼され 愛される人
挨拶	望まれる 人になる	挨拶	あいさつ	
思いやり	人間性	感謝	道具を 大切に使う	
礼儀	感謝 される人になる	実行力	プラス思考	

将来の夢は？
将来，どんな仕事について大切なこと

①
その仕事に関係した力を伸ばすこと

②
人として大切な力を伸ばすこと

感謝・礼儀・思いやり・
信頼・応援
↓
今からできること。





「子どもたちのトラブル」

校内での子どもたちのトラブルは、相手を「からかう」、「おちよくる」ことが始まりになっていることがよくあります。からかわれたり、おちよくられたりしたら、今度はからかい返す、おちよくり返す。時には腹が立って、手や足が出ることもあります。そして最後は、「ほなって、あいつがやってきたもん。」と言って、「自分は悪くない、相手が悪い」という主張をします。また、相手が嫌がることを言って、「あいつのこと嫌いやけん、言うてもかんまんてえ。」と正当化することもあります。

以前、この通信で「よき社会人になる基礎を育てる」ことについて書きました。確かに不当にからかわれたら、泣き寝入りや我慢で済ませられない気持ちもわかりますし、自分の正当性を主張する力も大切だとは思いますが、でも、それに加えて「よき社会人」という意味では、何かあった時によりよい方法で対応する（解決する）ことを教えることも必要です。相手のことが嫌い（自分と合わない）なら、距離を置くことも、人間関係を調整する一つの方法です。また「思いを巡らせる」こと、「こんなことを言ったら（したら）、相手はどう思うのか。」「今、相手はどんな気持ちでいるのか。」というように、相手のことを想像できる力を、少しずつでも身につけさせることも必要だと思います。「相手の立場に立って」とよく言われますが、自分と相手はそもそも違うので、立場に立つことはできません。でも思いを巡らせて想像することはできると思います。その大切さを子どもたちにはわかってほしいと思います。我々大人でも、なかなか難しいことですが、10年先、20年先の将来を担い、今とは大きく変わっている世界を支えていく今の子どもたちにはとても大事な力だと思います。

本校では、毎日のようにどこかの学年で、いざこざやトラブルが起きています。相手にいやなことを言われたりされたりして、つらい思いをしている子もいます。子どもたちの声をしっかり聴くとともに、指導すべきところは指導しながら取り組んでまいりますので、保護者の皆様もご理解とご協力をお願いします。

2学期は次の学年への準備を！



2学期は、6年生が96日、1～5年生が100日の登校となる予定です。14日の始業式では、「1日1日を大切に、次の学年への準備をしてほしい。」という話をしました。「1年生は新1年生を迎える準備、2・3年生は中学年として低学年と高学年をつなぐための準備、4・5年生は高学年として学校の中心となって活躍するための準備、そして6年生は中学生として、さらに自分を高めるための準備をしてほしい。」と伝えました。子どもたちの日々の頑張りを応援していきたいと思っています。

「子育てと子育て」

各家庭それぞれの事情があり、各家庭それぞれの子育ての方針があります。そして、なかなか思うようには育たないのが子どもです。

私の娘（もう30才になりますが…）が、以前、こんなことを言いました。「小学生の時は、どうしたら父さんに怒られないかを考えて過ごしていた。」それを聞いて、自らの子育てを反省した覚えがあります。

子どもに良かれと思って、あれこれ言ったり、怒ったりしてきたのですが、娘の話を聞いて、それらは私の自己満足だったのかも知れないと思いました。まさに、上に書いた「思いを巡らせる」ことができていなかった悪い例です。

今になってはもう遅いですが、もっと子どもの様子を見守り、話を聞いてやったらよかったと後悔しました。「子育て」＝「子育ての応援」ということに、恥ずかしながら娘の言ったことから気づかされた次第です。